

# TTC 提案山行実施記録表

2014. 8. 12 佐藤 清 1/2

山行名	北ア立山、劔岳（大汝山 3,015m、劔岳 2,999m）			富山県						
実施日	2014年8月2日（土）～4日（月）2泊3日			マイカー利用						
参加人員等	レベル：★★★★			参加者：3名（男3名）						
パーティスタッフ	CL/計画： SL： 会計： 救護： 写真：			スタッフ名削除						
参加メンバー	参加者氏名削除									
費用 一人 43,000円	集金：129,000円（@43,000円×3人）、支出：128,360円、カンパ金：640円 [支出内訳] 【交通費内訳】65,960円 マイカー使用料5,600円（560km×10円）、燃料代11,200円（160円×560km/8km/L）、 ドライバー謝礼10,000円（5000円×2日）、高速代9,010円（圏央厚木IC⇒安曇野IC3,750円、安曇野IC⇒圏央厚木IC5,260円）、駐車代3,000円（扇沢3日間）、扇沢⇄室堂アルペンルート27,150円（往復9,050円×3人） 【宿泊内訳】60,000円 劔御前小舎31,500円（1泊2食+弁当：10,500円×3人）、劔山荘28,500円（1泊2食：9,500円×3人） 【その他内訳】2,400円 ・劔御前小舎でのペット水（2L）900円、・入浴料1,500円（大町温泉薬師の湯：割引500円×3人）									
所要時間 (8/2の歩行時間には別山北峰往復の時間21分を含む)		8月2日（土）			8月3日（日）			8月4日（月）		
		歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
	ガイドブック	5:55	-	-	6:10	-	-	3:55	-	-
	計画	5:55	0:55	6:50	6:50	1:25	8:15	4:00	0:20	4:20
実行	5:33	0:42	6:15	7:37	1:33	9:10	3:31	0	3:31	
実行コースタイム記録										
<p>◆8/2（土）</p> <p>0:15 2:03 0:05 0:08 0:45(シャツ購入待25分)</p> <p>本厚木==圏央厚木IC==梓川SA==安曇野IC==セブンイレブン==扇沢駐車場==扇沢出発</p> <p>3:05 3:20 5:23~40 5:45 5:53~6:00 6:45~7:20 7:30</p> <p>0:53 1:00 0:30 1:22</p> <p>黒部湖ダム発==黒部平発==大観峰発==室堂——ノ越——雄山——大汝山——真砂岳</p> <p>8:10 8:30 8:45 8:53~9:15 10:08~28 11:28~45 12:15 13:37</p> <p>1:00 0:12 0:09 0:27</p> <p>——別山——別山北峰——別山——劔御前小舎</p> <p>14:37~42 14:54 15:03 15:30</p> <p>◆8/3（日）</p> <p>劔御前小舎——劔山荘——一服劔——前劔——劔岳——カニの横這い——前劔——一服劔——劔山荘</p> <p>4:15 5:27~6:05 6:31~36 7:31~36 9:25~55 10:16 11:08~15 12:52~13:00 13:25</p> <p>◆8/4（月）</p> <p>1:24 1:19 0:48</p> <p>劔山荘——劔御前小舎——雷鳥荘——室堂==大観峰発==黒部平発==黒部湖発==扇沢着</p> <p>6:15 7:39 8:58 9:46~10:15 10:30 10:50 11:35 11:50~12:05</p> <p>0:15 0:25 0:25 0:25 3:20 0:45</p> <p>==お風呂(薬師の湯)==食事(道の駅安曇野松川)==安曇野IC==圏央厚木IC==自宅</p> <p>12:20~13:00 13:25~55 14:20 17:40 18:25</p>										

## コースの概要、特記事項、反省事項等

劔岳へは新田次郎の小説を読み映画『点の記』を見て、107年前は前人未到の信仰の山と恐れられた山へハイカーとして一度は登りたいと思っていました。室堂～立山～別山～別山尾根～劔岳のコースは2008年8月にKTさんをCLとしてSTさん、HHさんの3名が山行したコースを辿りました。このコースは、1日目の扇沢の駐車場にすんなり車を駐車でき、同所からトロリーバスへ速やかに乗車できるかが勝負です。室堂から立山、別山、劔岳と縦走でき、ゆとりある山行時間に良いコースだと思い、同様にしました。

また、本年6月14日に封切られた映画『春を背負って』を見て、ロケ地「大汝休憩所」も見ることができおまけ付きです。

今回の山行にあたって参加メンバーには、大山や塔ノ岳へのトレーニングをお願いし準備も整い、後は当日に晴れることだけを祈っていました。

## ◆8月2日(土) 晴れのち一時雨

自宅でOmさんと合流して2時40分に本厚木駅北口空港行バス乗り場へ向い、Itさんをピックアップした。計画では相模湖ICから中央高速道路に乗る予定であったが、本年6月28日に圏央道愛川ICから高尾山ICまで開通したので圏央厚木ICから乗り、八王子JCTを経由して中央高速道路を快調に車を走らせ計画より2時間前に扇沢に到着。駐車場も空きがありすんなり駐車できた。

扇沢から始発のトロリーバスに乗ることができ室堂にも計画より2時間前に到着して、ゆるキャラ3人のお出迎えを受けた。日焼け止めを塗り準備体操を行い、冷たい立山玉殿(たまどの)の湧水で口を潤し、空身のハイキング姿の方々に交じって出発をした。1時間ぐらいで一ノ越、そこからも1時間で雄山に着いたが、人の多いのにはびっくりした。雄山神社に行くには500円の参拝料が必要で、全員一致で参拝を断念した。ここから大汝山に向かったが人が少なくなり歩きやすくなった。大汝山では『春を背負って』の大汝休憩所を見て「う～ん！ここであの素晴らしい映像を撮ったんだ」と一人悦に入っている。どこが頂上か分かりづらい真砂岳を通過して社のある別山に着いた。頂上から晴れていれば見事な劔岳が見えるそうだが、霧で全く見ることはできない。せっかく来たのだからと空身で別山北峰に行くことになった。山頂に到着したら霧雨が降ってきたので、慌てて写真だけ撮って別山に戻った。ザックを背負い足早に劔御前小舎に向かった。小屋が見えてから雨足が強くなりだした。衣服が濡れる一歩手前でお休み処に到着をして、明日の朝早く出発するので朝ごはんの弁当と昼食の弁当を注文して宿泊手続きをした。当然にItさんと私はビールでOmさんはソフトドリンクで乾杯をして夕食までしっかり反省会を行った。この夕食のおかずは今一であったが、豚汁は具も多く絶品であったので、合わせ技で満足のいく夕食であったと言える。

## ◆8月3日(日) 晴れのち曇り

まだ陽が登っていない4時15分に小屋を出発した。劔山荘に到着して宿泊手続きを行い、ザックを小屋に預けてサブザックに水、カップ、医薬品、昼食等をもってヘルメットをかぶり出発をした。一服劔にはすんなりついた。目の前に大きな山が『おお！！あれが劔岳』と思っていたら『前劔』だった。前劔から鎖や大きな岩の連続で中々劔岳に着かない。平蔵の頭とカニのタテバイを過ぎると、登りの核心部が終わり、直ぐに頂上に着いた。やっと来た劔岳なので30分の大休止をした。

下山に際してカニのヨコバイの難所が待ち受けているので、十分に注意するように言ったが、実際は『大したことはない』と3人の感想であった。下りの第1歩目の足掛かりが見えづらいとのことであったが、赤ペンキが塗ってあり問題なく見ることができた。この第1歩目を右足で降り横に移動するが、横移動の距離も短く、ここが劔岳の最大の難所と言われているのが理解できなかった。

岩がゴロゴロしており、一步一步足を置くところを確認して、ゆっくりと下り一服劔まで注意が必要だ。何と、登りより下りの方が時間がかかってしまった。それでも、今日のお休み処には1時25分に着いた。荷物の整理と反省会を小屋の外で行った。この小屋には生ビール(900円)があり、昨日の残りの梅酒、ウイスキーと焼酎で反省会を行ったが、当然Omさんはソフトドリンクである。この夕食は、とんかつがでて豪華で満足した。

## ◆8月4日(月) 雨のち曇り

前夜にザックのパッキングができていたので、5時30分からの朝食をゆっくり摂り、本降りの雨だったのでカップを着て出発をした。ここから劔御前小舎までのゆるい登りが続く、雷鳥平から雷鳥荘までも階段の登りが続き、これが結構きつかった。

室堂に9時46分に着き30分後に出発するトロリーバス等に乗って扇沢へ11時50分に着いた。薬師の湯で汗を流し、道の駅安曇野松川で食事を摂って、長野自動車道の安曇野ICから乗り帰路についた。

以上